

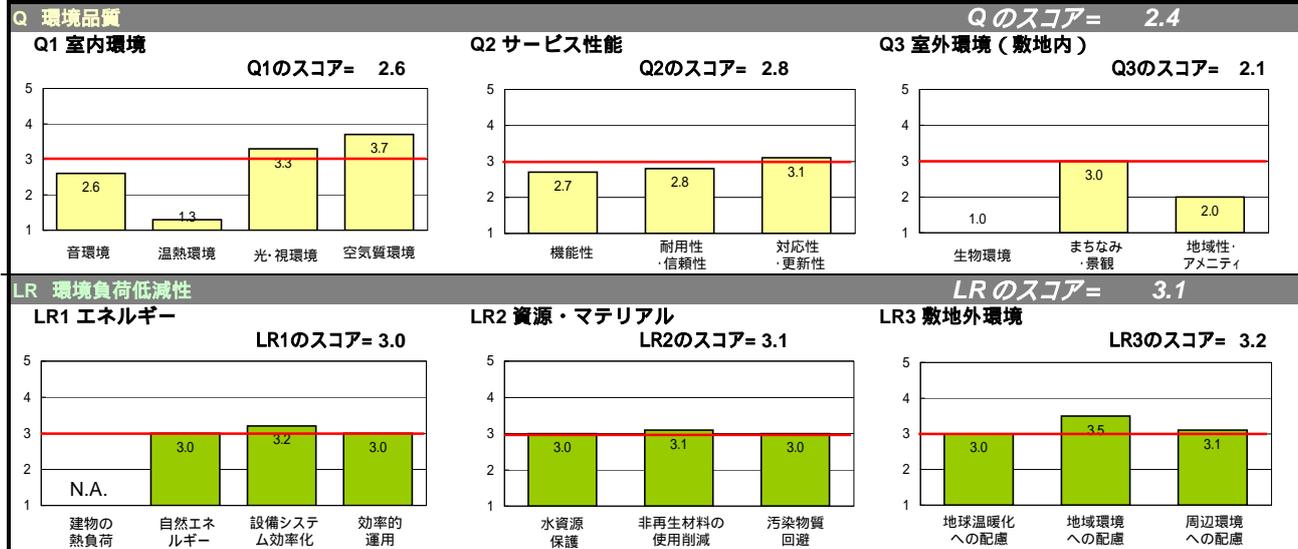
| 1-1 建物概要 |                         | 1-2 外観 |            |
|----------|-------------------------|--------|------------|
| 建物名称     | 協同組合SIP座間イフニティ 働工研 工場   | 階数     | 地上2F       |
| 建設地      | 神奈川県座間市栗原字中丸882番1外      | 構造     | S造         |
| 用途地域     | 市街化調整区域、防火指定なし、建基法22条地域 | 平均居住人員 | 37 人       |
| 気候区分     |                         | 年間使用時間 | 2,152 時間/年 |
| 建物用途     | 工場                      | 評価の段階  | 実施設計段階評価   |
| 竣工年      | 2013年11月 予定             | 評価の実施日 | 2012年10月1日 |
| 敷地面積     | 3,658 m <sup>2</sup>    | 作成者    | 株式会社 日創設計  |
| 建築面積     | 1,657 m <sup>2</sup>    | 確認日    | 2012年10月1日 |
| 延床面積     | 2,056 m <sup>2</sup>    | 確認者    | 株式会社 日創設計  |

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート) 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



## 2-4 中項目の評価(バーチャート)



## 3 設計上の配慮事項

| 総合   | その他                             |                                     |
|--|---------------------------------|-------------------------------------|
| 従業員への室内環境に配慮した。<br>省エネルギー・省資源に配慮した。  | 0                               |                                     |
| <b>Q1 室内環境</b><br>一般的な室温を実現する為の設備容量の確保。<br>窓にブラインドボックス等を取付、外気温調整を配慮。<br>積極的に窓を設け、自然採光・通風を確保。<br>化学汚染物質の低減。 | <b>Q2 サービス性能</b><br>空間のゆとりを配慮。  | <b>Q3 室外環境(敷地内)</b><br>基準に準じた緑地を確保。 |
| <b>LR1 エネルギー</b><br>省エネルギー機器の採用。   | <b>LR2 資源・マテリアル</b><br>節水器具の採用。 | <b>LR3 敷地外環境</b><br>基準に準じた緑地を確保。    |

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい